

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターひまわり学園		
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日 ~		令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月27日 ~		令和7年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 1月27日 ~		令和7年 2月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6事業所	(回答数) 6事業所
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	連絡ノート及び電話連絡(メール)で情報共有を行い、丁寧にやりとりすることができた。	こども園で過ごす子どもの様子を伝え、良かった所を意図的にお伝えした。 連絡ノートと電話連絡(メール)を行い、より丁寧にやり取りができた。	文章だけでなく、写真等を活用し、保護者にも分かりやすい報告を心掛ける。
2	90分療育(りんく組)を併用利用している児の情報共有を行いながら、連携を図ることができた。	りんく組支援員と併用利用している児の情報共有を行っている。	併用利用児の様子を引き続き情報共有していく。
3	各研修に参加し、知識を深めることができた。	各研修に参加し、学びを深めることができた。	今後も各研修に参加しながら学びを深め、支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	卒園した子のサポートとして、学校等にも行けると良い。	訪問支援員としての人材確保、教育体制の構築。	訪問支援員としての人材確保、教育体制を構築していく。
2	直接支援はよいが、間接支援で時間をいただくことが難しい。	限られた時間の中でカンファレンスを実施することが難しい。	訪問先の業務に支障がないように調整していく。
3	・保育所等訪問支援事業についての周知不足。 ・SNSやHPの掲載がなかった。	・保育所等訪問支援事業についての周知不足。 ・SNSやHPの掲載がなく、広報活動が不足していた。	・保育所等訪問支援事業に関して、こども園や学校、関係機関へ広報活動を行う。またHPやSNS等にも掲載できるようにする。 ・保育所等訪問支援についての周知を図り、たくさんの方に利用していただきたい。